



曲目

夏田昌和：草原のよろめき太鼓

藤井登生：委嘱作品

安藤巴：サクセスと打楽器のための新作 (sax 楠瀬亮)

細川俊夫：線VI

高橋悠治：狼

安藤 巴
Tomo Ando

パーカッション ソロ
percussion solo

—京都編—
-in kyoto-

2024年 12月19日 (木)

青山音楽記念館 バロックザール

18:15 開場

19:00 開演

24年5月東京文化会館にて行われた「安藤巴 パーカッションソロ」は盛況のうちに終えることができました。

一京都編一と題した今回は、以前からご縁のある京都に場を移し、少しずつ変化する自分の興味を取り入れた新しいプログラムをお送りします。

とてもシンプルなセットの打楽器ソロ「草原のよるめき太鼓」からはじまり、親交の深い作曲家でバンド「カブトムシ」のベーシストでもある藤井登生さんの委嘱作品、日頃より共演しているサクセス奏者楠瀬亮さんを迎えた自作曲と続きます。後半は東京公演でも演奏した「線V」と「狼」。日本を代表する作曲家の2作品に改めて取り組みます。

一つ一つの音をきっかけにどんな景色が見られるか。新しい「京都」という土地にどう響くか。とても楽しみにしています。

安藤巴

演奏会によせて

ひとつの音に耳をすませる。打楽器は、おそらく人間が一番はじめに手にした楽器だ。その響きにはたぶん、感情も、通信も、ダンスも、会話も、あった。

ひとびとは、いつもあたりしく、音楽と出会っていた。今を生きるわたしたちは、なにか音を聴く時、その音にまわりつくさまざまな記憶やイメージを含ませ聴いている。

打楽器奏者である安藤巴さんの演奏を聴いて、わたしの耳は突然生まれたてのように、まささな感覚になった気がした。きめ細やかに、予定調和ではない身体の動きによって奏でられた、ひとつひとつの音を、肌ざわりをたしかめるように聴いていた。その時、記憶やイメージから自由になった音楽は、これまで出会うことのなかった風景を見せてくれるのだと思った。

クラシックというジャンルの域を越えて、音そのものを見つめる活動を行う安藤さんの挑戦を、しずかに見届けてみたい。

清原 惟 (映画監督・映像作家)



sax. 楠瀬 亮 Ryo Kusunose

高知県香南市で生まれ育つ。

幼い頃は虫取りと工作に精を出し、大学ではクラシック音楽や即興演奏に取り組み、近年は関東圏での様々な形態での演奏や音楽的創作に動いている。

現在は体験の蓄積を観察し改めて捉え直すことに生活の主軸を置いている。東京藝術大学音楽学部器楽科卒業。

千葉県鋸南町在住。



作曲. 藤井 登生 Toy Fujii

作曲家。島根県で生まれ、10歳で音楽の存在に気づく。東京藝術大学音楽学部作曲科を卒業、同大学大学院音楽研究科作曲専攻を修了。修了時に取手市長賞を受賞。安良岡章夫、望月京の各氏に作曲を師事。音楽の「奇跡的な立ち現れ」を追い求め、多様に形態を横断して作品を制作している。

近年はエレクトロニクスを用いたシステムティックな作曲手法や、音響拡張による作品も多く制作している。広告の音楽制作など、クライアントワークも多く手掛けている。また、大学在学中にアヴァン・ポップバンド「カブトムシ」を結成し、ベーシストとしても活動している。



安藤 巴 Tomo Ando

1997年6月14日生まれ、千葉県柏市出身。音楽家、打楽器奏者。

両親の影響で幼い頃よりピアノ、ドラムを始め、たくさんの音楽を聴いて育つ。13歳から作曲を、その後本格的に打楽器を学び、東京藝術大学打楽器専攻に入学。在学中打楽器の持つ自由さ、多彩さに触れ、とりわけ独奏に意欲的に取り組む。卒業後はフリーの打楽器奏者としてオーケストラ、打楽器独奏、現代音楽の分野で演奏。

さらに近年は身の回りのものや打楽器を用いた自分自身の表現を模索しており、即興演奏、ライブ演奏、楽曲制作も増えている。2024年5月東京文化会館にて「安藤巴 パーカッションソロ」を開催。同年8月芥川作曲賞選考会にて打楽器協奏曲のソリストを務め、新日フィルと共演。

現代音楽演奏コンクール「競楽」本選出場。第37回日本管打楽器コンクールにてパーカッション部門第1位。打楽器トリオ「トリオ・ループ」、即興音楽集団「LA SEÑAS」のメンバー。神奈川県立音楽堂「紅葉坂プロジェクト」「湯浅譲二 95歳の肖像」NHK FM「リサイタル・パッショ」など出演多数。

作曲を啼鵬、松本望各氏に、打楽器を竹島悟史、藤本隆文各氏に師事。

(株)こおろぎ社 neoria 契約アーティスト。BONNEY DRUM JAPAN エンドーサー。

千葉県鋸南町在住。



東京公演の様子 (Youtube)



information

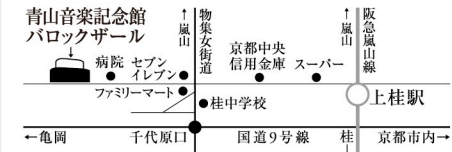
2024年12月19日 (木) 18:15 開場 19:00 開演

全席自由 3,000円

※未就学児の入場はご遠慮ください。

青山音楽記念館 バロックザール

(京都市西京区松尾大町9-1)



阪急電車嵐山線「上桂」駅下車西へ300メートル
ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。

チケット取扱い

●青山音楽記念館

TEL 075-393-0011

受付 9:30~18:00

●ご予約フォーム

(お取り置き)



お問い合わせ

tomo.ando.project@gmail.com

【主催】 安藤 巴

【助成】 青山音楽財団

写真 / 井手 勇貴 デザイン / 黒澤 圭貴